

## 令和7年度「防災スペシャリスト養成」地域研修 実施団体募集要項（案）

## 1. 概要

内閣府(防災担当)では、地域防災力の強化及び地域による防災人材の育成を推進するために、地域毎にそのニーズに応じた研修カリキュラムを作成して、オンラインによる講義と対面での演習を行う「地域研修」の実施団体を公募します。

## (1) 実施期間

- ・ 実施団体の意向を踏まえて、令和7年7月から令和8年2月頃の間で実施します。

## (2) 受講定員及び費用

- ・ 定員約60名(標準的なカリキュラムに沿って演習を行う場合)で受講料は無料です。  
☞ 地域のニーズに応じて、定員の増減は可能です。

## (3) 対象者

- ・ 地域防災力の強化に携わる地方公共団体、国の出先機関や指定公共機関等の職員を基本とします。

## (4) 研修方法

- ・ 研修は、約1か月間でオンライン動画を視聴する「講義」と、その後、受講者が集まって1日程度で行う「演習」で構成されています。  
☞ 講義動画は、パソコンやスマホ・タブレットで視聴可能で、研修テーマにもよりますが、通常8時間程度となります。  
☞ 実施団体が独自に開催する研修と連動して演習等を行うこともできます。

## 2. 研修の準備・運営等

準備段階から当日の運営や研修結果の整理までを内閣府と実施団体が協力して行います。

## (1) 研修カリキュラムの設計

- ・ 実施団体の希望する研修テーマに応じて、「防災スペシャリスト養成研修」やこれまでの地域研修の教材から、講義動画や演習内容を選定・追加等して、カリキュラムを設計します。  
☞ 地域からのニーズが多い研修テーマについては、「標準カリキュラム」を用意しています(p.5 以降参照)。

- ・カリキュラムの設計にあたっては、実施団体、内閣府及び研修のコーディネートをしていただく有識者等による検討会を行います。
- ☞ 有識者の選定や検討会の日程調整などは、実施団体の意向も踏まえて内閣府が行います。

## (2) 受講者の募集

- ・カリキュラムができたら、受講者を募集します。
- ☞ 研修テーマに応じて、防災担当部局だけではなく、災害復旧、保健医療福祉、災害廃棄物などの関係部局から幅広く受講いただくことを推奨しています。
- ☞ 管内の市区町村や近隣の他の地方公共団体等からの受講も推奨しています。
- ・募集期間は、通常、3週間程度を想定しています。

## (3) 研修の実施

- ・講義動画の視聴期間は、約1か月です。
- ☞ 動画を視聴するためのシステムは内閣府が用意します。
- ・演習は、標準カリキュラムに沿って行う場合、午前9時半頃から始めて、休憩をはさみ午後5時過ぎに終了となります。
- ☞ 当日の司会・オリエンテーション等の運営は内閣府が行います。

## (4) ふりかえり

- ・研修の実施後に、ふりかえりを行って、よかった点や課題・改善点を整理します。

(参考) 令和7年度の研修実施のスケジュール例(8月に演習を実施する場合)

|               | R6  | R7 |    |          |      |      |    |    |       |    |
|---------------|-----|----|----|----------|------|------|----|----|-------|----|
|               | 12月 | 1月 | 2月 | 3月       | 4月   | 5月   | 6月 | 7月 | 8月    | 9月 |
| 実施団体募集・選定結果通知 |     |    |    |          |      |      |    |    |       |    |
| 検討会等          |     |    |    | カリキュラム検討 |      |      |    |    |       |    |
|               |     |    |    | 事前説明     | 検討会① | 検討会② |    |    | ふりかえり |    |
| 受講者募集         |     |    |    |          |      |      |    |    |       |    |
| 研修実施          |     |    |    |          |      |      |    |    |       |    |
|               |     |    |    |          |      |      |    | 講義 | 演習    |    |

### 3. 実施団体の主な業務等

実施団体が行う主な業務や費用負担は、以下のとおりです。

#### (1) 実施団体が行う主な業務

| 業務 |                      | 内容                                                    |
|----|----------------------|-------------------------------------------------------|
| 1  | 事前説明への参加<br>(1時間程度)  | 研修ニーズ・意向等の確認、実施予定日・開催形式・演習会場等の調整を行います。(オンライン)         |
| 2  | カリキュラムの検討<br>(数日を想定) | 標準カリキュラム等から講義選択、演習内容を検討いただきます。<br>内閣府、コーディネーターが支援します。 |
| 3  | 検討会①への参加<br>(1時間程度)  | 受講対象者の検討、講義内容の確認、スケジュール調整等を行います。(オンライン)               |
| 4  | 検討会②への参加<br>(1時間程度)  | 演習の企画検討や、実施に向けた役割分担の確認等を行います。<br>(オンライン)              |
| 5  | 受講者の募集<br>(準備に数日を想定) | 募集準備及び募集を行っていただきます。<br>内閣府が支援します。                     |
| 6  | 演習当日の準備等<br>(3時間程度)  | 会場の準備、配布資料の印刷等を行っていただきます。<br>運営スタッフを派遣し、司会等は内閣府が行います。 |
| 7  | ふりかえりへの参加<br>(1時間程度) | 研修の課題と改善点を確認します。<br>(オンライン)                           |

#### (2) 費用負担

| 負担区分 |         | 内容                                                                                   |
|------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 1    | 実施団体の負担 | 演習の会場使用料及び資料印刷代 (いずれも発生する場合)                                                         |
| 2    | 内閣府の負担  | 講義動画の視聴システムや教材使用料等の講義の運営に係る費用<br>運営スタッフ派遣や講師謝金・旅費等の演習の運営に係る費用<br>(会場使用料及び資料印刷代は除きます) |

※ 上記により判断がつかない費用については、実施団体と内閣府との協議により負担を決定します。

## 4. 実施団体の募集・選定

---

### (1) 応募可能な団体

- ・ 都道府県又は指定都市による単独応募を基本としますが、以下の例のように、複数の都道府県や市区町村、都道府県と民間の関係団体による合同での応募も可能です。

#### (例) 合同で応募する複数団体の例

- － 発災時に応援・受援関係となることが想定される近隣都道府県
- － 南海トラフ地震における重点受援県及び即時応援県
- － ある程度の圏域を形成している複数の市区町村・広域事務組合 等

### (2) 応募方法

- ・ 応募しようとする団体は、別紙様式1及び2に必要な事項を記載して、以下の提出先に令和7年〇月〇日(〇)までにメールでお送りください。

(提出先) 内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(地方・訓練担当)付

菊池 masahiko.kikuchi.y3b@cao.go.jp

原沢 takuya.harasawa.j5v@cao.go.jp

電話 03-3503-2236(直通)

### (3) 実施団体の選定

- ・ 内閣府は、別紙様式1及び2により、研修の実施が地域課題の解消に寄与するか等を検討し、実施団体として10団体程度を選定します。
  - ☞ 選定にあたっては、これまでに地域研修を実施したことがない都道府県を優先的に検討します。
- ・ 検討の過程で応募団体に問い合わせを行う場合があります。

## 5. 標準カリキュラム

### (1) 標準カリキュラム テーマ：応援・受援

概要：基礎的な知識、初動期の関連業務の概要や課題を理解し、都道府県と市区町村の連携を確認する

対象：市区町村の受援調整窓口を担当する職員、都道府県の市町村の受援業務を支援する職員

#### ■ 講義

■：基礎的な内容 ■：応用的な内容も含む ●：受講必須 ◇：受講任意

| 区 分        | 単 元 名                           | 時間     | 単元の概要                                 |
|------------|---------------------------------|--------|---------------------------------------|
| 災害対応業務全般   | 1 防災行政概要                        | ◇ 20分  | 防災に関する業務全体の流れと各業務の概要・位置付け等を学ぶ         |
|            | 2 災害法体系と災害対策基本法の概要              | ◇ 15分  | 災害関連法の体系と災害対策基本法の概要等を学ぶ               |
|            | 3 防災計画の概要                       | ◇ 15分  | 防災基本計画、地域防災計画、業務継続計画の概要等を学ぶ           |
|            | 4 地域の災害特性                       | ● 60分  | 地域の災害特性、想定される被害状況とその発生メカニズムを学ぶ        |
| 応援・受援の基礎知識 | 5 受援体制と受援計画の概要                  | ● 15分  | 受援体制の必要性、応援受入れの心構えやポイント、受援計画の整備項目等を学ぶ |
|            | 6 応急対策職員派遣制度の概要                 | ● 15分  | 応急対策職員派遣制度の概要、総括支援チームの役割等を学ぶ          |
|            | 7 地方公共団体間の相互応援と受援体制             | ● 130分 | 応援受援の仕組みと受援体制、受援計画作成と見直しの取組み事例等を学ぶ。   |
| 受援対象業務の概要  | 8 避難所の開設・運営の内容                  | ● 15分  | 避難所の設置主体や役割、発災前後の避難所開設・運営の業務の概要等を学ぶ   |
|            | 9 災害廃棄物処理の概要                    | ● 10分  | 災害廃棄物の種類、処理の流れ、平時からの災害廃棄物対策の概要等を学ぶ    |
|            | 10 被害認定調査・罹災証明書の概要              | ● 10分  | 被害認定調査・罹災証明書の発行の業務の概要等を学ぶ             |
|            | 11 インフラ復旧の概要                    | ◇ 15分  | 災害復旧事業の概要、原形復旧と改良復旧の違い、デジタル技術の活用等を学ぶ  |
|            | 12 災害ケースマネジメントの概要               | ◇ 15分  | 災害ケースマネジメントの概要とポイント、取組みの流れ等を学ぶ        |
| 物資の調達・輸配送  | 13 国としての物資の備蓄および災害時における物資の調達・輸送 | ◇ 15分  | 国からの救援物資の調達・輸配送の概要等を学ぶ                |
|            | 14 救援物資の調達                      | ◇ 35分  | 要請から供給の流れ、被災者ニーズに応じた調達に関する実務と課題等を学ぶ   |
|            | 15 救援物資の輸配送                     | ◇ 30分  | 災害時の輸配送に関する事業者の取組み、輸配送に関する実務と課題等を学ぶ   |
|            | 16 救援物資ロジスティクス演習                | ◇ 30分  | 物資調達・輸送調整等支援システムを使って調達～配布の留意点等を学ぶ     |
| (カスタマイズ枠)  | ※有明の丘研修等から自由に単元を追加              |        |                                       |

#### ■ 演習

| 時間              | 単元                             | 時間   | 講師               | 単元の概要                                                                                                      |
|-----------------|--------------------------------|------|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9:30<br>～9:40   | - (オリエンテーション)                  | 10分  | (事務局)            |                                                                                                            |
| 9:40<br>～10:35  | 1 【講演】<br>事例から学ぶ受援の実態と課題       | 55分  | 受援経験のある<br>自治体職員 | 災害時の受援を経験した自治体職員の体験談を踏まえた講演を通じて、受援の実態と課題を学ぶ。                                                               |
| 10:35<br>～10:50 | - (休憩)                         | 15分  |                  |                                                                                                            |
| 10:50<br>～11:45 | 2 【講演】<br>事例から学ぶ応援の実態と課題       | 55分  | 応援経験のある<br>自治体職員 | 災害時の応援を経験した自治体職員の体験談を踏まえた講演を通じて、受援の実態と課題を学ぶ。                                                               |
| 11:45<br>～12:45 | - (昼休み)                        | 60分  |                  |                                                                                                            |
| 12:45<br>～14:25 | 3 【エスノグラフィー演習】<br>災害対応過程と態度を学ぶ | 100分 | 内閣府<br>派遣講師      | 災害時の応援を経験した自治体職員の体験談を教材として読み込み、教材から読み取った知見・教訓をグループワークで整理することで、災害発生前後の活動を確証し、行政の対応の流れや災害対応上の課題、活動上のポイントを学ぶ。 |
| 14:25<br>～14:35 | - (休憩)                         | 10分  |                  |                                                                                                            |
| 14:35<br>～16:15 | 4 【演習】<br>受援業務における初動対応演習       | 100分 | 内閣府<br>派遣講師      | 災害発生初動期の応援要請と応援受入れのそれぞれの状況で検討する演習を通じて、応援要請や応援受入れ時の市町村の役割と、市町村による応援要請における県の役割を学ぶ。                           |
| 16:15<br>～16:20 | - (休憩)                         | 5分   |                  |                                                                                                            |
| 16:20<br>～17:05 | 5 【演習】<br>全体討論 (ふりかえり)         | 45分  | 事務局              | 研修を通じて学び得たものを整理し、日頃からの「備え」につなげることを演習を通して学ぶ。                                                                |
| 17:05<br>～17:15 | - (閉講)                         | 10分  | (事務局)            |                                                                                                            |

## (2) 標準カリキュラム テーマ：災害対策本部(情報収集・分析)

概要：本部における情報収集・分析業務に必要な知識を学び、対策の立案までの一連の流れを理解する

対象：都道府県・市区町村の災害対策本部事務局職員

### ■ 講義

■：基礎的な内容 ■：応用的な内容も含む ●：受講必須 ◇：受講任意

| 区 分                                                                 | 単 元 名                                       | 時間    | 単元の概要                                |
|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|-------|--------------------------------------|
| 災害対応業務全般                                                            | 1 防災行政概要                                    | ◇ 20分 | 防災に関する業務全体の流れと各業務の概要・位置付け等を学ぶ        |
|                                                                     | 2 災害法体系と災害対策基本法の概要                          | ◇ 15分 | 災害関連法の体系と災害対策基本法の概要等を学ぶ              |
|                                                                     | 3 防災計画の概要                                   | ◇ 15分 | 防災基本計画、地域防災計画、業務継続計画の概要等を学ぶ          |
|                                                                     | 4 地域の災害特性                                   | ● 60分 | 地域の災害特性、想定される被害状況とその発生メカニズムを学ぶ       |
| 災害対策本部が行う<br>対策立案プロセス                                               | 災害対策本部の活動サイクル                               | ● 15分 | プランニングP、対策立案プロセスと責任担当期間等を学ぶ          |
|                                                                     | 当面の対応計画の策定                                  | ● 10分 | 当面の対応計画とその構造、事前計画と当面の対応計画の関係等を学ぶ     |
|                                                                     | 当面の対応計画策定のための災害対策本部<br>での情報処理               | ● 15分 | 災害対策本部での情報処理、定型情報・非定型情報の種類と活用等を学ぶ    |
|                                                                     | 災害対策本部会議の進め方                                | ● 15分 | 災害対策本部会議の進行の基本・心得、本部会議の進め方の事例等を学ぶ    |
| 状況認識の統一                                                             | 6 地図による状況認識の統一とISUTの試み                      | ● 70分 | GISによる統合された情報提供の必要性和ISUTの有効性について学ぶ。  |
| 指揮統制総論<br>(世界標準に則した<br>指揮統制)<br>平時業務を世界標準に<br>即した災害対応業務に<br>どう変換するか | 災害発生後に基礎自治体が行うべき業務の<br>全体像を把握できる            | ◇ 5分  | 災害発生後に基礎自治体が行うべき業務の全体像を学ぶ            |
|                                                                     | 世界標準に即した災害対応業務が5つの役<br>割で構成されていることを理解できる    | ◇ 10分 | ICSの概要、標準的な災害対策業務の体系等を学ぶ             |
|                                                                     | 市町村が中心になって活躍する災害対応業<br>務6+1を理解できる           | ● 10分 | 市町村が中心になって活躍する災害対応業務6+1の概要を学ぶ        |
|                                                                     | 平時の業務を世界標準に即して災害対応業<br>務に変換することができる (ICS準拠) | ◇ 5分  | 平時の業務を世界標準に即して変換した災害対応業務の概要を学ぶ       |
| 参謀にとつての災害<br>対策本部運営                                                 | 災害対策本部を指揮するとは                               | ◇ 15分 | 指揮をするとは何か、指揮を効果的にするための手順と流れを学ぶ       |
|                                                                     | トップと参謀の役割                                   | ◇ 15分 | トップと参謀の役割の違い、それぞれの責任の範囲を学ぶ           |
|                                                                     | トップの意思決定・指揮を補佐する参謀機<br>能の強化                 | ◇ 15分 | 参謀機能の強化の必要性、総合調整所の概要、部局横断的な体制の必要性を学ぶ |
|                                                                     | 情報処理と状況判断                                   | ◇ 15分 | 情報処理の重要性、状況判断において参謀に必要な事項を学ぶ         |
| (カスタマイズ枠)                                                           | ※有明の丘研修等から自由に単元を追加                          |       |                                      |

### ■ 演習

| 時間              | 単元                             | 時間   | 講師               | 単元の概要                                                                                                      |
|-----------------|--------------------------------|------|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9:30<br>～9:40   | - (オリエンテーション)                  | 10分  | (事務局)            |                                                                                                            |
| 9:40<br>～10:35  | 1 【講演】<br>事例から学ぶ受援の実態と課題       | 55分  | 受援経験のある<br>自治体職員 | 災害時の受援を経験した自治体職員の実体験を踏まえた講演を通じて、受援の実態と課題を学ぶ。                                                               |
| 10:35<br>～10:50 | - (休憩)                         | 15分  |                  |                                                                                                            |
| 10:50<br>～11:45 | 2 【講演】<br>事例から学ぶ応援の実態と課題       | 55分  | 応援経験のある<br>自治体職員 | 災害時の応援を経験した自治体職員の実体験を踏まえた講演を通じて、応援の実態と課題を学ぶ。                                                               |
| 11:45<br>～12:45 | - (昼休み)                        | 60分  |                  |                                                                                                            |
| 12:45<br>～14:25 | 3 【エスノグラフィー演習】<br>災害対応過程と態度を学ぶ | 100分 | 内閣府<br>派遣講師      | 災害時の応援を経験した自治体職員の体験談を教材として読み込み、教材から読み取った知見・教訓をグループワークで整理することで、災害発生前後の活動を確証し、行政の対応の流れや災害対応上の課題、活動上のポイントを学ぶ。 |
| 14:25<br>～14:35 | - (休憩)                         | 10分  |                  |                                                                                                            |
| 14:35<br>～16:15 | 4 【演習】<br>受援業務における初動対応演習       | 100分 | 内閣府<br>派遣講師      | 災害発生初期期の応援要請と応援受入れのそれぞれの状況で検討する演習を通じて、応援要請や応援受入れ時の市町村の役割と、市町村による応援要請における県の役割を学ぶ。                           |
| 16:15<br>～16:20 | - (休憩)                         | 5分   |                  |                                                                                                            |
| 16:20<br>～17:05 | 5 【演習】<br>全体討論 (ふりかえり)         | 45分  | 事務局              | 研修を通じて学び得たものを整理し、日頃からの「備え」につなげることを演習を通して学ぶ。                                                                |
| 17:05<br>～17:15 | - (閉講)                         | 10分  | (事務局)            |                                                                                                            |

※ 1・2限目をエスノグラフィー演習(110分)に変更することも可能です。その場合、開始時間は9:30から10:00に変更になります。

### (3) 標準カリキュラム テーマ：災害対策本部(初動対応)

概要：本部の初動対応に必要な知識を学び、初動期の業務概要を理解し、発生する課題への対応を学ぶ

対象：都道府県・市区町村の災害対策本部事務局職員

#### ■ 講義

■：基礎的な内容 ■：応用的な内容も含む ●：受講必須 ◇：受講任意

| 区 分                                                                 | 単 元 名                                      | 時間    | 単元の概要                                |
|---------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|-------|--------------------------------------|
| 災害対応業務全般                                                            | 1 防災行政概要                                   | ◇ 20分 | 防災に関する業務全体の流れと各業務の概要・位置付け等を学ぶ        |
|                                                                     | 2 災害法体系と災害対策基本法の概要                         | ◇ 15分 | 災害関連法の体系と災害対策基本法の概要等を学ぶ              |
|                                                                     | 3 防災計画の概要                                  | ◇ 15分 | 防災基本計画、地域防災計画、業務継続計画の概要等を学ぶ          |
|                                                                     | 4 地域の災害特性                                  | ● 60分 | 地域の災害特性、想定される被害状況とその発生メカニズムを学ぶ       |
| 災害対策本部が行う<br>対策立案プロセス                                               | 災害対策本部の活動サイクル                              | ● 15分 | プランニングP、対策立案プロセスと責任担当期間等を学ぶ          |
|                                                                     | 当面の対応計画の策定                                 | ● 10分 | 当面の対応計画とその構造、事前計画と当面の対応計画の関係等を学ぶ     |
|                                                                     | 当面の対応計画策定のための災害対策本部<br>での情報処理              | ● 15分 | 災害対策本部での情報処理、定型情報・非定型情報の種類と活用等を学ぶ    |
|                                                                     | 災害対策本部会議の進め方                               | ● 15分 | 災害対策本部会議の進行の基本・心得、本部会議の進め方の事例等を学ぶ    |
| 指揮統制総論<br>(世界標準に則した<br>指揮統制)<br>平時業務を世界標準に<br>即した災害対応業務に<br>どう変換するか | 災害発生後に基礎自治体が行うべき業務の<br>全体像を把握できる           | ◇ 5分  | 災害発生後に基礎自治体が行うべき業務の全体像を学ぶ            |
|                                                                     | 世界標準に即した災害対応業務が5つの役<br>割で構成されていることを理解できる   | ◇ 10分 | ICSの概要、標準的な災害対策業務の体系等を学ぶ             |
|                                                                     | 市町村が中心になって活躍する災害対応業<br>務6+1を理解できる          | ● 10分 | 市町村が中心になって活躍する災害対応業務6+1の概要を学ぶ        |
|                                                                     | 平時の業務を世界標準に即して災害対応業<br>務に変換することができる(ICS準拠) | ◇ 5分  | 平時の業務を世界標準に即して変換した災害対応業務の概要を学ぶ       |
| 指揮統制の現状                                                             | 「令和2年7月豪雨」について熊本県人吉<br>市松岡市長へのインタビュー       | ● 20分 | 経験を基にした指揮統制の実態と課題を学ぶ                 |
|                                                                     | インタビューの解説                                  | ● 10分 | インタビュー内容から指揮統制における重要なポイントを学ぶ         |
| 参謀にとつての災害<br>対策本部運営                                                 | 災害対策本部を指揮するとは                              | ◇ 15分 | 指揮をするとは何か、指揮を効果的にするための手順と流れを学ぶ       |
|                                                                     | トップと参謀の役割                                  | ◇ 15分 | トップと参謀の役割の違い、それぞれの責任の範囲を学ぶ           |
|                                                                     | トップの意思決定・指揮を補佐する参謀機<br>能の強化                | ◇ 15分 | 参謀機能の強化の必要性、総合調整所の概要、部局横断的な体制の必要性を学ぶ |
|                                                                     | 情報処理と状況判断                                  | ◇ 15分 | 情報処理の重要性、状況判断において参謀に必要な事項を学ぶ         |
| (カスタマイズ枠)                                                           | ※有明の丘研修等から自由に単元を追加                         |       |                                      |

#### ■ 演習

| 時間              | 単元                             | 時間   | 講師               | 単元の概要                                                                                                      |
|-----------------|--------------------------------|------|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9:30<br>～9:40   | - (オリエンテーション)                  | 10分  | (事務局)            |                                                                                                            |
| 9:40<br>～10:35  | 1 【講義】<br>事例から学ぶ受援の実態と課題       | 55分  | 受援経験のある<br>自治体職員 | 災害時の受援を経験した自治体職員の実体験を踏まえた講演を通じて、受援の実態と課題を学ぶ。                                                               |
| 10:35<br>～10:50 | - (休憩)                         | 15分  |                  |                                                                                                            |
| 10:50<br>～11:45 | 2 【講義】<br>事例から学ぶ応援の実態と課題       | 55分  | 応援経験のある<br>自治体職員 | 災害時の応援を経験した自治体職員の実体験を踏まえた講演を通じて、受援の実態と課題を学ぶ。                                                               |
| 11:45<br>～12:45 | - (昼休み)                        | 60分  |                  |                                                                                                            |
| 12:45<br>～14:25 | 3 【エスノグラフィー演習】<br>災害対応過程と態度を学ぶ | 100分 | 内閣府<br>派遣講師      | 災害時の応援を経験した自治体職員の実体験を題材として読み込み、教材から読み取った知見・教訓をグループワークで整理することで、災害発生前後の活動を確証し、行政の対応の流れや災害対応上の課題、活動上のポイントを学ぶ。 |
| 14:25<br>～14:35 | - (休憩)                         | 10分  |                  |                                                                                                            |
| 14:35<br>～16:15 | 4 【演習】<br>受援業務における初動対応演習       | 100分 | 内閣府<br>派遣講師      | 災害発生初動期の応援要請と応援受入れのそれぞれの状況で検討する演習を通じて、応援要請や応援受入れ時の市町村の役割と、市町村による応援要請における県の役割を学ぶ。                           |
| 16:15<br>～16:20 | - (休憩)                         | 5分   |                  |                                                                                                            |
| 16:20<br>～17:05 | 5 【演習】<br>全体討論(ふりかえり)          | 45分  | 事務局              | 研修を通じて学び得たものを整理し、日頃からの「備え」につなげることを演習を通して学ぶ。                                                                |
| 17:05<br>～17:15 | - (閉講)                         | 10分  | (事務局)            |                                                                                                            |

※ 1・2限目をエスノグラフィー演習(110分)に変更することも可能です。その場合、開始時間は 9:30 から 10:00 に変更になります。

#### (4) 標準カリキュラム テーマ： 救援物資の調達・輸配送

概要： 基礎的な知識、プッシュ/プル型支援についての都道府県・市区町村の役割と業務、課題への対応を学ぶ

対象： 都道府県の物資担当窓口、市区町村の物資担当

#### ■ 講義

■：基礎的な内容 ■：応用的な内容も含む ●：受講必須 ◇：受講任意

| 区 分          | 単 元 名                          | 時間     | 単元の概要                                 |
|--------------|--------------------------------|--------|---------------------------------------|
| 災害対応業務全般     | 1 防災行政概要                       | ◇ 20分  | 防災に関する業務全体の流れと各業務の概要・位置付け等を学ぶ         |
|              | 2 災害法体系と災害対策基本法の概要             | ◇ 15分  | 災害関連法の体系と災害対策基本法の概要等を学ぶ               |
|              | 3 災害救助法の概要                     | ◇ 15分  | 災害救助法の概要、適用の判断基準（考え方）、適用タイミング等を学ぶ     |
|              | 4 防災計画の概要                      | ◇ 15分  | 防災基本計画、地域防災計画、業務継続計画の概要等を学ぶ           |
|              | 5 地域の災害特性                      | ● 60分  | 地域の災害特性、想定される被害状況とその発生メカニズムを学ぶ        |
| 応援・支援の基礎知識   | 6 支援体制と支援計画の概要                 | ● 15分  | 支援体制の必要性、応援受入れの心構えやポイント、支援計画の整備項目等を学ぶ |
|              | 7 応急対策職員派遣制度の概要                | ● 15分  | 応急対策職員派遣制度の概要、総括支援チームの役割等を学ぶ          |
|              | 8 地方公共団体間の相互応援と支援体制            | ● 130分 | 応援支援の仕組みと支援体制、支援計画作成と見直しの取組み事例等を学ぶ。   |
| 物資の調達・輸配送    | 9 国としての物資の備蓄および災害時における物資の調達・輸送 | ● 15分  | 国からの救援物資の調達・輸配送の概要等を学ぶ                |
|              | 10 救援物資の調達                     | ● 35分  | 要請から供給の流れ、被災者ニーズに応じた調達に関する実務と課題等を学ぶ   |
|              | 11 救援物資の輸配送                    | ● 30分  | 災害時の輸配送に関する事業者の取組み、輸配送に関する実務と課題等を学ぶ   |
|              | 12 救援物資ロジスティクス演習               | ● 30分  | 物資調達・輸送調整等支援システムを使って調達～配布の留意点等を学ぶ     |
| 避難所運営業務の基礎知識 | 13 避難所の開設・運営の内容                | ◇ 15分  | 避難所の設置主体や役割、発災前後の避難所開設・運営の業務の概要等を学ぶ   |
|              | 14 多様な主体による避難所運営               | ◇ 15分  | 避難所運営を支援する災害ボランティア等の多様な主体と支援概要等を学ぶ    |
|              | 15 災害時における男女共同参画の視点からの取組の概要    | ● 15分  | 災害時における男女共同参画の視点から取り組むべき事項等を学ぶ        |
| (カスタマイズ枠)    | ※有明の丘研修等から自由に単元を追加             |        |                                       |

#### ■ 演習

| 時間              | 単 元                            | 時間   | 講師               | 単元の概要                                                                                                      |
|-----------------|--------------------------------|------|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9:30<br>～9:40   | - (オリエンテーション)                  | 10分  | (事務局)            |                                                                                                            |
| 9:40<br>～10:35  | 1 【講演】<br>事例から学ぶ支援の実態と課題       | 55分  | 支援経験のある<br>自治体職員 | 災害時の支援を経験した自治体職員の体験談を踏まえた講演を通じて、支援の実態と課題を学ぶ。                                                               |
| 10:35<br>～10:50 | - (休憩)                         | 15分  |                  |                                                                                                            |
| 10:50<br>～11:45 | 2 【講演】<br>事例から学ぶ応援の実態と課題       | 55分  | 応援経験のある<br>自治体職員 | 災害時の応援を経験した自治体職員の体験談を踏まえた講演を通じて、応援の実態と課題を学ぶ。                                                               |
| 11:45<br>～12:45 | - (昼休み)                        | 60分  |                  |                                                                                                            |
| 12:45<br>～14:25 | 3 【エスノグラフィー演習】<br>災害対応過程と態度を学ぶ | 100分 | 内閣府<br>派遣講師      | 災害時の応援を経験した自治体職員の体験談を教材として読み込み、教材から読み取った知見・教訓をグループワークで整理することで、災害発生前後の活動を確認し、行政の対応の流れや災害対応上の課題、活動上のポイントを学ぶ。 |
| 14:25<br>～14:35 | - (休憩)                         | 10分  |                  |                                                                                                            |
| 14:35<br>～16:15 | 4 【演習】<br>支援業務における初動対応演習       | 100分 | 内閣府<br>派遣講師      | 災害発生初期の応援要請と応援受入れのそれぞれの状況で検討する演習を通じて、応援要請や応援受入れ時の市町村の役割と、市町村による応援要請における県の役割を学ぶ。                            |
| 16:15<br>～16:20 | - (休憩)                         | 5分   |                  |                                                                                                            |
| 16:20<br>～17:05 | 5 【演習】<br>全体討論 (ふりかえり)         | 45分  | 事務局              | 研修を通じて学び得たものを整理し、日頃からの「備え」につなげることを演習を通して学ぶ。                                                                |
| 17:05<br>～17:15 | - (閉講)                         | 10分  | (事務局)            |                                                                                                            |

※ 1・2限目をエスノグラフィー演習(110 分)に変更することも可能です。その場合、開始時間は 9:30 から 10:00 に変更になります。

## (5) 標準カリキュラム テーマ：避難所開設・運営

概要：基礎的な知識、開設から受入れ、運営までの流れ、被災者対応における課題とポイントを学ぶ

対象：市町村の避難所運営担当、避難所全体のマネジメント担当職員

### ■ 講義

■：基礎的な内容 ■：応用的な内容も含む ●：受講必須 ◇：受講任意

| 区 分       | 単 元 名                      | 時間    | 単元の概要                                                                 |
|-----------|----------------------------|-------|-----------------------------------------------------------------------|
| 災害対応業務全般  | 1 防災行政概要                   | ◇ 20分 | 防災に関する業務全体の流れと各業務の概要・位置付け等を学ぶ                                         |
|           | 2 災害法体系と災害対策基本法の概要         | ◇ 15分 | 災害関連法の体系と災害対策基本法の概要等を学ぶ                                               |
|           | 3 災害救助法の概要                 | ◇ 15分 | 災害救助法の概要、適用の判断基準（考え方）、適用タイミング等を学ぶ                                     |
|           | 4 防災計画の概要                  | ◇ 15分 | 防災基本計画、地域防災計画、業務継続計画の概要等を学ぶ                                           |
|           | 5 地域の災害特性                  | ● 60分 | 地域の災害特性、想定される被害状況とその発生メカニズムを学ぶ                                        |
| 避難所開設・運営  | 6 避難所の開設・運営の内容             | ● 15分 | 避難所の設置主体や役割、発災前後の避難所開設・運営の業務の概要等を学ぶ                                   |
|           | 7 多様な主体による避難所運営            | ● 15分 | 避難所運営を支援する災害ボランティア等の多様な主体と支援概要等を学ぶ                                    |
|           | 8 災害時における男女共同参画の視点からの取組の概要 | ● 15分 | 災害時における男女共同参画の視点から取り組むべき事項等を学ぶ                                        |
|           | 9 避難所のライフサイクル              | ● 54分 | 避難所の運営体制確立～解消、平時からの取組み、ニーズへの対応等を学ぶ                                    |
|           | 10 避難所運営の実際                | ● 57分 | 熊本地震の事例から避難所運営全体や環境、車中泊、ベット等の課題を学ぶ                                    |
|           | 11 要配慮者をはじめとする避難者の避難生活支援   | ● 90分 | 避難生活の支援、避難所運営時の健康管理、保健医療体制の全体像等を学ぶ<br>福祉避難所の役割と必要性、概要、福祉避難所の実際と課題等を学ぶ |
| (カスタマイズ枠) | ※有明の丘研修等から自由に単元を追加         |       |                                                                       |

### ■ 演習

| 時間              | 単元                               | 時間  | 講師                                        | 単元の概要                                                                                      |
|-----------------|----------------------------------|-----|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 09:30<br>～09:40 | - (オリエンテーション)                    | 10分 | (事務局)                                     |                                                                                            |
| 09:40<br>～10:50 | 【講義】<br>1 避難所開設・運営の流れと活動上のポイント ※ | 70分 | コーディネーター<br>または有識者                        | 避難所における開設・運営時の業務の概要と基本的な業務の流れ、活動上のポイント・留意点を学ぶ。                                             |
| 10:50<br>～11:00 | - (休憩)                           | 10分 |                                           |                                                                                            |
| 11:00<br>～12:00 | 【講義】<br>2 事例から学ぶ避難所開設・運営の実態と課題 ※ | 60分 | 避難所開設・運営<br>経験のある<br>自治体職員<br>進行：コーディネーター | 災害時の避難所開設・運営を経験した自治体職員の実体験を踏まえた講演を通じて、避難所開設・運営の実態と課題を学ぶ。                                   |
| 12:00<br>～13:00 | - (昼休み)                          | 60分 |                                           |                                                                                            |
| 13:00<br>～14:30 | 【演習】<br>3 避難所開設演習<br>(レイアウトの設定)  | 90分 | 内閣府<br>派遣講師                               | 避難者を受入れるための避難所のレイアウトを設定する演習を行い、避難所に参集してから開設するまでの業務の流れをイメージするとともに、避難所開設時のポイントや留意点を学ぶ。       |
| 14:30<br>～14:40 | - (休憩)                           | 10分 |                                           |                                                                                            |
| 14:40<br>～15:55 | 【演習】<br>4 避難所受入れ演習<br>(被災者対応)    | 75分 | 内閣府<br>派遣講師                               | 受入れた避難者の個々の状態や状況に応じてどのような対応が必要かを検討する演習を行い、避難所開設から運営までの業務の流れをイメージするとともに、避難所運営時のポイントや留意点を学ぶ。 |
| 15:55<br>～16:05 | - (休憩)                           | 10分 |                                           |                                                                                            |
| 16:05<br>～16:50 | 【演習】<br>5 全体討論 (ふりかえり)           | 45分 | 事務局                                       | 研修を通じて学び得たものを整理し、日頃からの「備え」につなげることを演習を通して学ぶ。                                                |
| 16:50<br>～17:00 | - (閉講)                           | 10分 | (事務局)                                     |                                                                                            |

※ 1・2限目をエスノグラフィー演習(110分)に変更することも可能です。その場合、開始時間は 9:30 から 10:00 に変更になります。

別紙様式 1

令和 年 月 日

内閣府政策統括官（防災担当）付  
参事官（地方・訓練担当） 殿

応募団体の名称及びその代表者名

令和 7 年度「防災スペシャリスト養成」地域研修実施団体募集要項 4 の規定に基づき、  
応募します。

|    |                                                |                 |
|----|------------------------------------------------|-----------------|
| 1  | 担当者部署名                                         |                 |
| 2  | 担当者 役職・氏名                                      |                 |
| 3  | 連絡先 電話番号                                       |                 |
| 4  | 連絡先 メールアドレス                                    |                 |
| 5  | 実施（希望）時期                                       |                 |
| 6  | 演習実施方法                                         | 集合 / オンライン / 未定 |
| 7  | 受講対象者・団体                                       |                 |
| 8  | 受講者数（見込）                                       | 人               |
| 9  | 自主企画（予定）                                       | あり / なし         |
| 10 | 地域講師（予定）                                       | あり / なし         |
|    | <b>【提案内容を記載】</b><br>※カリキュラムに関するもの以外でも、提案があれば記載 |                 |

別紙様式2 コンサルティングシート

|       | 項目                  | 回答 |
|-------|---------------------|----|
| 基本情報  | 主な想定災害              |    |
|       | 懸念される被害             |    |
|       | 研修・訓練状況             |    |
|       | 希望テーマ               |    |
|       | 研修の概要<br>(課題と取組の概要) |    |
| 地域の現状 | 現状と課題認識の詳細          |    |
|       | 組織間連携の課題            |    |
|       | 達成目標                |    |
| その他   | 有識者・災害対応経験者等        |    |
|       | 連携団体等               |    |

※ 応募にあたっては「基本情報」のみ記入して下さい。  
「地域の現状」及び「その他」は、選定後、検討会を行って記入します。

(参考) 別紙様式2 コンサルティングシート (記入例)

|       | 項目                  | 回答                                                                                             |
|-------|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本情報  | 主な想定災害              | 南海トラフ地震                                                                                        |
|       | 懸念される被害             | 沿岸部が津波による被害を受ける。また、県に山間地の地形が多く、道路途絶により、孤立地域が多数生じる懸念がある。                                        |
|       | 研修・訓練状況             | 県・市町村連携の●●訓練を毎年実施。                                                                             |
|       | 希望テーマ               | 災害対策本部の初動対応（設置・運営）                                                                             |
|       | 研修の概要<br>(課題と取組の概要) | 災害対策本部の設置・運営を経験したことのある自治体が少ないため、その設置・運営について、講義で学んで、演習で体験できるようにしたい。                             |
| 地域の現状 | 現状と課題認識<br>の詳細      | 県内市町村のほとんどで災害対策本部を設置した経験がないため、県・市町村で災害対応レベルや知識にバラつきがある。南海トラフ地震等で広域的な被害が生じたときに、うまく連携できない可能性がある。 |
|       | 組織間連携の課題            | 地域の関係組織との協力体制が確立できていない。毎年の訓練で少し関わりがある程度にとどまる。                                                  |
|       | 達成目標                | 市町村の職員等に研修を通じて、災害対策本部の設置・運営の基礎的な知識を身に付けていただき、各自で取組を進めるための足掛かりにして欲しい。                           |
| その他   | 有識者・<br>災害対応経験者等    | 訓練時に協力いただいている地元大学の有識者がいる。また、組織内に災害の応援経験のある職員がいる。                                               |
|       | 連携団体等               | 国土交通省（〇〇地方整備局）、電力事業者、通信事業者等                                                                    |

※ 応募にあたっては「基本情報」のみの記入で結構です。

「地域の現状」及び「その他」は、選定後、検討会を行って記入することとなりますが、イメージをつかんでいただくために、例示として記入しています。